

以下は 2022 年春休みに韓国・誠信女子大学校オンライン留学に参加した  
学生による留学報告書です。①-⑤の 5 名分です。

①

## オンライン留学報告書

私は 2 月 14 日から 2 月 25 日までの約 2 週間、韓国にある誠心女子大学のオンライン留学を受講しました。新型コロナウイルスの流行で韓国の方と関わる機会や交流する機会があまりない為、せっかくのチャンスを無駄にしたくないと思い参加しました。毎日約 4 時間の授業が zoom を利用して行われました。授業は 2 人の教授が交代で行い、毎週水曜日は現地大学生との交流の時間がありました。事前に日程表と授業資料が添付される為、計画性を持って授業に取り組むことができました。初日はオリエンテーションがあり、日本語での補足説明もしていただけました。オリエンテーションでは事前に確認しておきたいことや何か質問があれば、聞くことができます。事前に添付される授業資料に沿って行われる授業では、事前に分からない単語を調べるなど予習をしておくことが大切だと感じました。また、分からない時はそのことを伝え、教えていただき、分からないままにしないということを中心にしました。授業中は質問されることや、自分の考えを聞かれることが多かった為、韓国語で相手に伝える力が以前よりもついたのでないかと思います。毎週水曜日の現地大学生との交流では韓国の食べ物、流行のファッション、髪型などについて教えていただきました。お互いの国について興味のあることを質問したりなど、一緒に楽しくコミュニケーションを取ることができました。韓国の文化を学ぶ授業では、韓国のドラマ、歌、建物、習慣などを紹介していただきました。そこから、韓国と日本で異なる部分や共通する部分を探し、自分で文にして伝えたりもしました。今まで意識していなかったことや、気づかなかったことを知ることができ、新たな発見ができてよかったです。毎週金曜日は故郷の紹介と日本文化の紹介の発表を 1 人ずつ行いました。事前に発表原稿を先生に送り、添削していただきました。今まで韓国語での発表はしたことがなかった為とても緊張しましたが、とてもいい経験になりました。最終日には約 2 週間を振り返り、自分の思いを文にしました。自分自身が学んだことや、これからの抱負だけでなく、親切で熱心にご指導して下さいました先生方や、一緒に受講したクラスメイトへの感謝も伝えられたのでよかったです。大学の授業では比較的受容的な授業が多いですが、オンライン留学では、質問されることや、自分自身の考えを聞かれることが多かった為、韓国語で話す機会が多くできて、実践的な学びができたと思います。しかし、自分の韓国語の実力はまだまだだと感じ、もっと今まで以上に勉強しなければいけないと思いました。今回の経験を無駄にせずに、これからもっと学びを深めていきたいです。

## オンライン留学報告書

私は、韓国語をもっと上達させたい、春休み中に何か自分にプラスになることをしたいと思い、このオンライン留学を受講すると決めました。コロナ禍で海外に行くことが簡単ではなく、海外に実際に行って授業を受けることが難しく、オンライン授業であったら海外に行かなくても韓国語で授業を受けることができ、韓国語の実力が上がるのではないかと思いました。

オンライン留学の前にレベルテストというものがあり、私のオンライン留学をする前の韓国語の実力がとても低かったため、本来の2月14日から2月25日までの2週間の授業だけでなく、その前に2時間程度の授業を3日間してくださいました。

すべての授業が韓国語で行われました。オリエンテーションは千先生に日本語で説明していただけだったので、どのように授業を進めていくのか知ることができました。なので、授業の進め方についてわからなかったことは無かったです。現地の学生とのフリートークは、現地の学生がある程度の日本語を話すことをできていたので、現地の学生と一緒にフリートークに参加した人にサポートを受けながら会話をしました。先生との授業はすべて韓国語であり、何を話しているのか、何を話せばいいのかが分からなく、とても大変でした。自分の韓国語の実力があまりにも低すぎると実感しました。

授業の内容は、テキストと先生が作ったパワーポイントで進んでいきました。テキストにあることだけではなく、韓国の文化や食べ物、カリグラフィーの書き方を学びました。毎週水曜日に現地の学生とのフリートークがありました。そこでは、韓国で流行っている髪型や日本のアニメなどについて話しました。現地の学生とインスタやカカオトークで連絡先を交換しました。そして、毎週金曜日にパワーポイントに日本の文化や自分の故郷の紹介をまとめて発表しました。パワーポイントを準備するのはとても大変でしたが、出来上がった先生に送って間違っているところが無いかを確認してもらえたので発表は安心してできました。先生との連絡はカカオトークでしました。韓国語を書く宿題や、読んだものを録音して送る宿題がありました。白百合の授業とは違い、会話が多くの授業なので普段の授業とは違う体験が出来ました。

今回のオンライン留学を通して、韓国の文化に触れることができ、韓国の方たちと話すことによって、私がどれくらい韓国語を理解しているかを実感できました。全然理解できなかったのも、単語の意味を覚えるなど、勉強を頑張ろうと思いました。このオンライン留学のおかげで勉強への意欲が高まりました。

## オンライン留学報告書

### 1. 受講した理由

私がこのプログラムに参加した理由は2つあります。

1つ目は一人で勉強していると韓国人と話す機会がないので会話の練習がしたかったからです。

2つ目はコロナの影響で現地に行くことができなかったのですが長期休みを利用して韓国語のレベルを上げたかったからです。

### 2. 事前準備

私はこのプログラムに参加するにあたって基本的な韓国語を勉強しておきました。授業で習った文法をはじめから復習し、苦手な単元や過去形は特に時間をかけて振り返りました。また、少しでも韓国語の音に慣れておくために韓国語の歌を聴いたり、ドラマを見たりして少しでも多くの単語を聞き取れるようにしていました。

### 3. 受講して学んだこと・よかったこと

このプログラムでは授業が全て韓国語で行われるので予習・復習が必要不可欠です。授業が始まる前に予定表を渡されるのでそれに沿って単語を調べたりノートを作ったりするなど予習をします。授業が終わった後は学んだ文法をまとめたり、調べが足らなかった単語や初めて聞いた単語を復習しました。

先生方は画像を見せながら単語を教えてくれたのでイメージしやすく、早く覚えられました。また韓国の文化を学ぶ授業ではイラストを使ったりクイズやゲームをしながら教えてくれたので楽しく勉強できました。私たちが日本の文化を紹介する場面もあったので自分が知らなかった日本のことを知ることができました。

韓国の学生と交流した際には韓国の俳優やアイドル、韓国で話題のメイク方法、化粧品などを発表してくれました。そこから話を広げて進んで質問することができました。韓国の話だけでなく日本のアニメや音楽などの話でも盛り上がったことに驚きましたがお互いの国が影響しあって楽しく会話できることがうれしかったです。また、私は聞き返すことがあったり調べたりしながら話したりすることもありましたが、韓国の学生さんが日本語がとても上手だったので助けられました。

#### 4. 自分の気づき

今回すべて韓国語で授業を受けてみて課題が見つかりました。

1つ目は語彙力を上げることです。自分が伝えたいことをすぐ言葉にできるように単語の数を増やすことが必要だと感じました。

2つ目は単語の形や音の変化を学ぶことです。文法やパッチムによって言葉に変化が生じることがあるのですが難しく感じたところがあったので、完璧に理解できるようにもう一度復習します。

3つ目は実際に話すスピードでも一回で聞き取ることです。今回は先生方がゆっくり話してくれたり文章を短く切って話して下さったのですぐ理解することができました。しかし韓国人と会話する際にスムーズに会話を楽しむために聞く力を高める必要があると感じました。リスニングをもっと練習します。

4つ目は韓国語を「話す」ことに慣れることです。私は韓国語を「理解」することは出来るのですが話す力が圧倒的に足りません。これまでの3つの課題が全て含まれていますがそれらに加えきれいな発音をできるようにスピーキングの練習も必要です。

これらの課題はこのプログラムに参加して改めて自分の力が足りないことに気づけました。ひとりで韓国を勉強している方や韓国語の力を伸ばしたい方、韓国の学生と関わりたい方には最高のプログラムだと思います。参加してよかったです。

## オンライン留学報告書

2月14日～2月25日の二週間、ZOOMを通じてオンライン留学に参加しました。平日の13時～16時50分までの授業でした。

授業は毎回、韓国人の先生によって韓国語のみで行われました。その際、授業に関する単語はもちろん、先生とのやり取りの中で出てきた単語も、授業の中で沢山教えていただきました。ただ聞いてメモするだけではなく、次自分が何か発表する際に使えるよう、意味を理解しながら、なんでも真似して発音することを心がけました。文法は、教科書の文を読む→発音する→習った文法を使って自分で文章を書く→全員で書いたものを発表し合うという流れでした。この勉強の方法は、今後自分で勉強する際にとても役立つと思いました。毎週金曜日には ppt を使って日本の文化や、故郷を紹介する発表の時間が設けられていました。実際にパソコンでハングルを打ち込み、資料を完成させ、台本も全て韓国語で作成しなければならなかった為、とても大変な作業でした。会話でよく使う言い方とは違った文章構成に慣れず、大変な面もありましたが、その分、単語や文法の勉強にもなり、とても楽しく準備を進めることが出来ました。準備過程でそのテーマについて調べていくうちに、日本の良さに改めて気づく部分も多く、韓国と比較してみると、より深く双方の文化を学ぶことも出来たと思います。

また、現地の学生と交流する機会が設けられていました。現地の学生一人に日本の学生二、三人でグループになり、お互いの国で流行しているファッションやコスメ、食べ物、ドラマ、音楽など色々な話をしました。コミュニケーションを取っていく中で、初めて知るものが沢山あり、お互いに質問し合ったりと、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。授業で発音の練習などを兼ねて話すのではなく、自分の韓国語力で相手に伝え、理解して話すことがとても楽しかったです。

今回のプログラムは、様々なレベルの学生で構成されたクラスの授業だった為、どのような授業になるのか正直不安でしたが、先生方が全員のレベルを考慮していただき、一人一人確実にステップアップ出来た授業だったと思います。見て、書いて、覚えるだけではなく、聞いて、考えて、話すということを重点的に行ったので、実践的な韓国語を沢山習得することが出来ました。このプログラムで学んだことを、これからの韓国語学習に生かし、より一層韓国語学力を磨いていきたいと思っています。

## オンライン留学報告書

2週間はあっという間と考える人が多いかもしれない。しかし、私はこのオンライン留学に参加した2週間、とても充実した意味のある時間を過ごすことができ、確実に自分の韓国語の力が上達したと考える。

私はこのプログラムに参加するまで韓国人と話したことがなかったため、自分の韓国語に対する自信がなく、すぐに自分の考えを韓国語で伝えることが難しかった。しかし私はもっと先生や韓国の学生の方と会話がしたい、せっかくの機会を無駄にしたくない、という想いで勇気を出して先生の質問に答えたり、学生の方に話しかけてみたりした。そうするうちに先生との会話がさらに楽しくなって、もっと韓国語の勉強を頑張ろうという意欲にもつながった。そして、私がこのオンライン留学で特に大切にしたのはインプットとアウトプットだ。2週間毎日韓国人の先生の韓国語を聞いていると、自然に韓国人が会話で使うような文法や、単語が多く耳に入ることになる。私はそれを利用して、先生がよく使っていた文法や表現の仕方をメモして、自分が話をするときに使ってみるようにした。そうすることでより自然な韓国語の会話ができるようになると思ったからだ。また授業以外でも、韓国語の歌の歌詞やドラマに出てきた表現について気になったことがあれば先生に質問して、気になることは解決していくように心がけた。ライティングの課題が出たときは、先生が直接一人一人の文を読んでくださり丁寧に訂正してくださるため、どこをどのように間違っているのか理解することができ、同じ間違いを繰り返さないように気を付けることができた。

この留学のプログラムには、文法を学ぶ時間や韓国の文化を学ぶ時間、更に韓国ドラマや音楽から韓国語を学ぶ時間など様々あった。特に私は2週間で2回行われた、決められたお題に対するプレゼンテーションと、韓国の学生の方とのコミュニケーションの時間が心に残っている。プレゼンテーションは日本語で行うことも難しい中、パワーポイントの内容も発表の台本もすべて韓国語で考えるのは正直とても大変だった。しかしその発表の準備をしたおかげで、知らなかった単語を覚えたり、その発表の内容について先生とお話をして盛り上がりたりし、より楽しく、勉強とは思わずに韓国語を学ぶことができたと思う。また、今回2回の発表で私は宮城県の魅力と日本の文化について発表したのだが、日本の魅力を海外の方に伝えることの楽しさと、知ってもらえることの嬉しさにも気づくことができた。そして現地の学生の方とお話したとき最初は緊張したが、時間があっという間に感じるほど楽しい時間を過ごし、お互いにそれぞれの国で流行しているものや食について、インターネットだけではわからないようなことを共有することができた。

正直私は、韓国に実際に行く留学について考えていたため、2週間のオンライン留学でどれだけ力がつくのか、どれだけ意味があるのか、大きな期待はしていなかった。しかし実際に参加してみると、先生方が一人一人のレベルに合わせて授業を進めてくださり、短い期間の中でも韓国語を話す機会をたくさん作ってくださったおかげで私は、韓国語を話すことに対する自信や勇気を持つことができ、更に韓国語を上達したいと考えることができた。